

令和6年度 看護進路相談会 実施報告

公益社団法人 宮崎県看護協会

1. 目的

保健・医療・福祉の分野でますます看護の要請が高まっており、優秀な人材の確保が重要となっている。そこで、中・高校生および保護者、進路担当の先生を対象に、看護学校に関する情報を提供し、適切な進路選択の一助となることを目的とする。

2. 日時：令和6年7月6日（土）

3. 会場：宮崎市民プラザ（宮崎市）

4. 内容：看護の講演（看護の魅力発信！トークイベント）、県内の各看護学校別の説明・個別相談、3職種（保・助・看）相談、5年一貫校資料提示

5. プログラム

時間	内容	
9:00～	受付（場所：オルブライトホール 前） ※9:20までに着席	
9:20～	オリエンテーション（会場：オルブライトホール）	
9:25	開会式 あいさつ（公社）宮崎県看護協会 会長 久保敦子	
9:30～ 12:25	<p>（会場：オルブライトホール）</p> <p>9:45～10:45(1回目) 11:15～12:15(2回目)</p> <p>看護の魅力発信！トークイベント 司会：伊豆 謡子 氏</p> <p>【出演者】 県医療政策課 看護担当 副主幹 保健師 藤村 涼子 氏</p> <p>都城保健所 保健師 塚本 善枝 氏</p> <p>育生会井上病院 助産師 久保 朋代 氏</p> <p>独立行政法人国立病院機構宮崎病院 看護師 河上 紘一郎 氏</p>	<p>（会場：4階 ギャラリー）</p> <p>9:40～10:55/11:10～12:25</p> <p>学校別相談会（出展校一覧） ※1回15分の説明を繰り返し行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宮崎県立看護大学 ・宮崎大学医学部看護学科 ・独立行政法人国立病院機構都城医療センター附属看護学校 ・藤元メディカルシステム付属医療専門学校 ・日南看護専門学校 ・宮崎医療福祉専門学校 ・九州医療科学大学専門学校 ・小林看護医療専門学校 ・フィオーレKOGA看護専門学校 ・延岡看護専門学校 ・宮崎看護専門学校 <p>各種相談（随時個別相談） ・（公社）宮崎県看護協会 宮崎県ナースセンター ・保健師/助産師/看護師</p>
12:30～ 13:30	個別相談 希望者のみ	

6. 参加状況：参加生徒数 100人

単位：人

	参加生徒の合計			一般	保護者	教諭	参加者合計
	1年生	2年生	3年生				
中学校（5校）	1	3	4	8	7	0	15
高校（21校）	6	30	56	92	44	1	137
合計	100			4	51	1	156

※R5年度参加者合計：169人（うち、生徒141人）

7. 各種相談

	ナースセンター	保健師ブース	助産師ブース	看護師ブース
相談者数	0人	10人	13人	10人

8. 参加者アンケート結果

- 1) 対象：参加した中・高校生、一般、104人
- 2) 回収状況：回収数 96 (回収率 92.3%)
- 3) 集計結果

(1) 回答者の内訳 単位：人

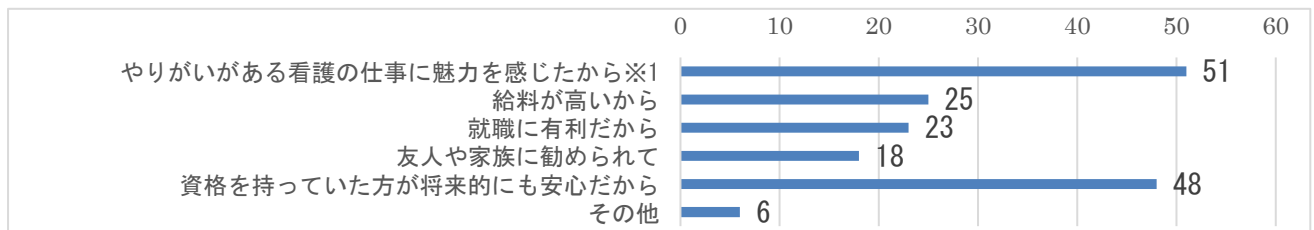
中学生	高校生	一般	無回答
8	85	2	1

(2) 進路希望

①現在の希望進路について (n=96) 単位：人

	回答数
1) ぜひ目指したいと思っている	69
2) 看護職を目指したいが迷っている	13
3) 決まっていないが看護職に関心がある	8
4) 看護職以外の進路を目指している	2
5) まったく決まっていない	2
無回答	2

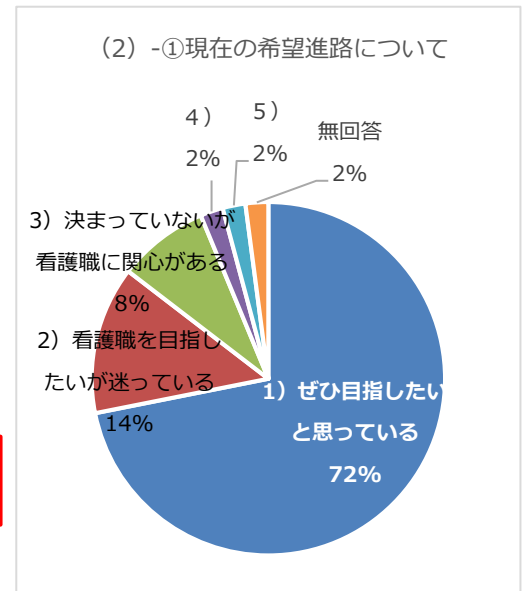
②看護職をめざす理由 * 複数回答 (①で1) 2) と回答した 82人が対象) 単位：人



※1：「やりがいがある看護の仕事に魅力を感じたから」の理由についての自由記載

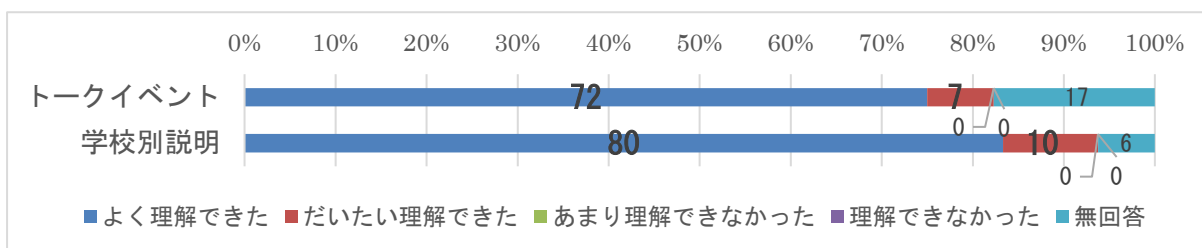
抜粋

- ・ 人の命や生活に関わり責任が人一倍大きい職である分、達成感が大きいと感じるから
- ・ 命を預かる仕事だから、助けた患者さんにお礼などを言われることがやりがいなのかなと思う
- ・ 自分の働きで誰かの心の健康を守ったり、サポートしてあげたりでき、人の力になりたいから
- ・ 患者さんの病気の回復を見届ける事が出来るから
- ・ 「人を助けたい」という思いがあって、たくさんの人を助けられる優しい看護師になりたいと思ったから
- ・ 家族に看護師が多いため
- ・ 自分の長所を特に活かせる場所であり、それを活かして人を助けたい
- ・ 助産師を目指している。出産に立ち会うことができることは、すごい事だし、当たり前のことではないと思ったから
- ・ 現在福祉課に通っていて、勉強しているうちに、看護師に興味を持った
- ・ 宮崎の医療に貢献することができるから
- ・ 様々な場所で活躍できるから
- ・ 介護現場で知識・技術ともに必要な資格だと感じる



(3) プログラムについての評価

プログラムの「トークイベント」、「学校別説明」の2項目について4段階評価を行った。
n=137 (人)



(4) 看護進路説明会に対する感想※抜粋

良かった、参考になった

- ・ たくさんの専門学校、大学の話を聞くことで、比較しながら自分の将来の選択に活かしていけるような経験が出来て良かった。
- ・ 看護師・助産師・保健師それぞれの仕事のやりがい。看護大などたくさん話が聞けて選択肢が広がった。
- ・ トークイベントでは、実際に看護職についている方々からの貴重なお話を聞く事が出来、知らなかったことを知ることができてとてもいい機会だった。
- ・ いろいろな学校の話聞いて、自分の進路を絞ることができました。どの学校の説明も分かりやすく良かったです。

気持ちの変化

- ・ トークイベント・学校説明会を聞いて、さらに看護師になりたいと思い、これからもっと勉強などを頑張ろうと思った。
- ・ 直接話を聞くことで、今まで以上に看護職について興味が出た。
- ・ どの学校も良くて看護師になりたい気持ちが高まった。
- ・ 自分の今後の進路や将来について深く考えるきっかけになり、より看護職につきたいと思えた。

気づき

- ・ 初めて、看護進路相談会に参加した。看護の道では、看護師だけではなく、保健師や助産師など様々な職業への道がある事を知った。
- ・ 説明も分かりやすく、もっと看護職に興味を持った。看護師しか考えていなかったけど、助産師もいいなと思った。

その他

- ・ ホームページ等流れを見れば分かる情報ばかりだったから、アドミッションポリシーとかとれる資格の話ではなくて、学校の雰囲気をもっと分かたりする説明が聞きたかった。かたぐるしい文のスライドではなく、実際の写真があるスライドとかの方が大学生活をイメージしやすいと思う。
- ・ 時間が限られていて自分の行きたいブースに行けなかった。

(5) ふれあい看護体験について

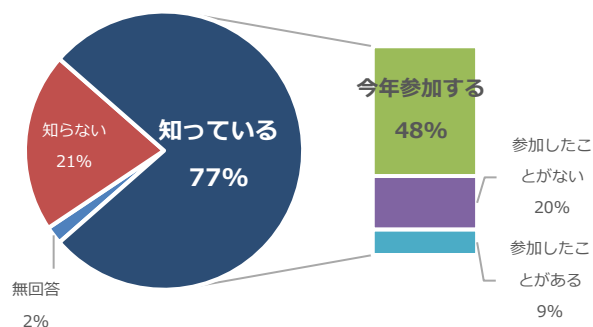
①ふれあい看護体験の認知度 n=96

ふれあい看護体験を知っている	74
ふれあい看護体験を知らない	20
無回答	2

②ふれあい看護体験の参加について n=74

参加したことがある	9
参加したことがない	19
今年参加する	46
無回答	0

ふれあい看護体験の認知度と参加状況について



9. まとめ

看護進路相談会は平成6年にスタートし毎年開催している。会場は、昨年同様「宮崎市民プラザ」とし、半日開催へと変更した（昨年度は終日開催の2部入替制）。開催案内は、県内高校と市町村教育委員会を通して中学校に案内を行い、県政掲示板や当会ホームページ、ナースセンターLINE等を活用し広報を行った。昨年課題となった参加人数の減少を受け、今年度は県民や多くの生徒に興味を持って参加してもらうためにプログラム内容を検討し、学校別説明会に加え、現役の看護職によるトークイベントや看護職との直接相談コーナーを企画した。

結果、中学校5校、高校21校、より100名の生徒が参加した（保護者等含むと156名）。参加者の86%は「看護を目指す」生徒の参加であった。看護を目指す理由として「看護の仕事に魅力を感じた」という生徒が多かった。トークイベントの様子は録画し、動画作成を行った。学校別の説明会は、ブース訪問促進のためシールラリーを実施し、1人あたり平均3校を訪問した。

プログラムについての4段階評価では、8割以上が「よく理解できた」「だいたい理解できた」と回答した。また、感想では「看護師・助産師・保健師それぞれの仕事のやりがい、看護大などたくさん話が聞けて選択肢が広がった。」と好評であった。

参加人数は昨年度より減少した。高校の進路指導部へのヒアリングでは、学校行事や模試など土曜日に計画されることが多く、「生徒は日曜日の方が参加しやすいのでは」との意見もあった。次年度の会場や日程設定の参考としていきたい。また、作成した動画は継続して看護の魅力発信事業にて活用していきたい。

少子化が進む中、看護人材確保のためには「看護の魅力発信事業」の継続・強化は必要であると考え。「看護に出会う体験」「仕事を知る機会の提供」「進路選択につながる情報提供」が、魅力ある職業としての看護職のイメージ醸成となるよう働きかけ、進路選択における看護職への志望者の増加を目指していきたい。

【開会式・トークイベント】



【学校別説明会】



【保健師・助産師・看護師 相談コーナー】

